

# 京都・大阪に残る「自然災害伝承碑」HPで紹介

自然災害伝承碑の地図  
記「国土情報提供」



京都府と大阪府内の104カ所に残る「自然災害伝承碑」を訪ね歩き、碑の写真や碑文、設置の背景などをまとめたレポートを、元京都府職員の男性がインターネット上で無料公開している。京都分は58カ所、1934年の室戸台風や53年の南山城水害などの教訓を伝える碑や像を紹介。「伝承碑には、文学や土木工学などの面でも先人の努力と魂が詰まっている。多くの人に見直されてほしい」と話す。

## 元京都府職員の辻謙一さん現地調査



「自然災害伝承碑は先人が残した宝物」と語る辻さん(京都市伏見区)

辻さんは地理院地図に未収  
地図未収載も対象

南丹土木事務所長などを務めた辻謙一さん(65)は大阪府枚方市。今年4月に伝承碑の現地調査を始めたところ、室戸台風にまつわる碑を残している桃山高京都市伏見区の齋藤清嗣副校長から「地理の学習に役立てたい」と要望され、調査結果を1月にネット公開した。

伝承碑の多くは被災した現場に立てられており、当時の状況を碑文や看板などで伝えている。2019年には国土地理院が伝承碑を示す地図記号を新たに定め、ホームページで所在地を検索できるようになった。

伝承碑の多くは被災した現場に立てられており、当時の状況を碑文や看板などで伝えている。2019年には国土地理院が伝承碑を示す地図記号を新たに定め、ホームページで所在地を検索できるようになった。

載の碑や像を含め、丹念に現地を調査した。「京都府内で最も印象的だった」と語るのが、東山区の知恩院南門付近と京都女子大にみる女性の子どもたちを包み込む像だ。いずれも「師弟愛の像」と題され、京阪神を中心に3千人以上の死者・行方不明者を出した室戸台風の災害を伝える。前者の像は当時、倒壊する校舎から児童を守って犠牲になった津和久(現西院小、右京区)の松浦寿恵子教諭を悼み、歌人吉井勇(1886~1960)が寄せた文の看板もある。後者は、現在の大阪府吹田市にあった小学校で児童を抱きしめて殉職した横山仁和子教諭(京大の前身・京都女子高等専門学校)の卒

# 功績、犠牲、教訓 今に伝え



△知恩院南門脇に立つ「師弟愛の像」(京都市東山区)

▽辻さんが公開しているレポートの一部



室戸台風は、大阪の豊崎高小中学校にも大きな被害をもたらした。ここでは被害が深刻し、京都府立大の前身である京都府立中等専門学校の卒業生、徳山に神戸長生が工場の従業員に殺害された被害者になった。そのほかには京都府立豊崎高小にも被害がある。それに際しては約15名の被害者が出た。京都府立大のキャンパス内には、室戸の犠牲者を追悼した人達ということで、「師弟愛の像」とよばれる徳山先生がモニュメントが設置されている。

## 室戸台風や南山城水害など計104カ所 「先人の努力と魂」着目

辻さんは調査を続けており、レポートを順次更新していくという。「活動に賛同して碑を紹介し、碑を巡るツアーも企画していきたい」と力を込める。レポートは辻さんが所属するNPO法人「都市災害に備える技術者の会」のホームページで公開されている。(中西英明)

賛同者募り全国へ

「先人の努力と魂」に着目。京都市の紫雲ヶ丘公園には、南山城水害の翌月に起きた昭和28年水害に耐えた綾部大橋の親柱4基が移設されており、「由良川の水害の多さと、流れを制御する難しさをもっと多くの人に知ってほしい」と願う。

京都市井手町のJR玉水駅には、1953年8月の南山城水害で約5000人が離れた玉川から押し流されてきた60トンの巨石が碑が隣り合っており、現在の同町に当たる地域で107人が命を落とした。辻さんは「洪水の威力を伝えていく点に加え、近年の駅道路の工事の際、住民の要望で巨石が残された点も重要」。綾部市の紫雲ヶ丘公園には、南山城水害の翌月に起きた昭和28年水害に耐えた綾部大橋の親柱4基が移設されており、「由良川の水害の多さと、流れを制御する難しさをもっと多くの人に知ってほしい」と願う。



桃山高に立つ室戸台風の「風災記念碑」。的確な避難により、千人余りの生徒と職員が助かったことを伝える(京都市伏見区)

業生らの功績を伝えている。訓練生きたケース

痛ましい犠牲を振り返る碑がある一方、桃山高にある昭和九年九月二十一日「風災記念碑」と題された碑は、「訓練と避難の大切さを示す。碑文や齋藤副校長によると、前身の旧制府立桃山中では室戸台風により18の教室が倒壊したが、千人余りの生徒と職員は直前に校外に避難し、一人の犠牲者も出なかったという。辻さんは「悲劇的な話はその目を引くが、日ごろの訓練を生かして無事に助かった事例からは学ぶことが多い」と強調する。